

がん性疼痛認定看護 Cancer Pain Management Nursing



患者さんの痛みの体験を通して
その人らしい生き方を支える



がん疼痛治療は、患者さんや家族、医療スタッフが一緒に取り組むことが重要です。疼痛治療の目標は、痛みによって日常生活に支障をきたしていることの改善であり、患者さんごとに疼痛治療の目標が異なります。そのため患者さんの痛みの体験を聴きながら、その人の生活に合った薬物療法、対処方法を考えるように心がけています。また、身体的な痛みに限らず、がんと向き合う中で生じてくる様々な苦痛に対しても患者さんと共に対処方法を考え、その人らしい生き方ができるよう支援していきます。